

令和8年度

道路新設改良事業（単独）

市道笑田線

道路改良工事 仕 様 書

事業主体 広島県庄原市

施行箇所 庄原市東城町小奴可

工 事 概 要										
工 事 名	市道笑田線 道路改良工事									
施行箇所	広島県 庄原市東城町小奴可									
工 事 概 要	費目工種	工 種	種 別 ・ 細 別	数 量					単位	摘 要
				当初	第1回	第2回	第3回	第4回		
工 事 概 要	道路改良工事			107					m	
		延長L=		4					m	
		幅員W=								
	土工	掘削工	片切掘削 礫質土	380					m3	
			片切掘削 軟岩	180					m3	
			オープン掘削	190						
		法面整形	切土法面整形	620					m2	
			切土法面整形	120					m2	
		防草工	モルタル吹付7cm	45					m2	
		残土処理工	土砂	760					m3	
	法面工	法面工	厚層基材吹付工 施工厚t=3cm	120					m2	
			厚層基材吹付工 施工厚t=5cm	120					m2	
			モルタル吹付8cm	498					m2	
	ブロック積工	練積ブロック	裏コン10cm	7					m2	
			裏コン15cm	30					m2	
	排水工	側溝	U型 PU3-B300-H300	45					m	
		法面排水	S型 BF250, 300	29					m	
		集水枳工	450,500	3					基	
		管渠工	高密度ポリエチレン管300mm	32					m	

特記仕様書

第 1 章 総 則
第 1 節 適 用

- 1 本特記仕様書は、**市道 笑田線 道路改良工事** に適用する。
- 2 本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
 - ・土木工事共通仕様書（令和8年8月 広島版（適用区分「広島」及び「広島県」）
※ 土木工事共通仕様書は、「広島県の調達情報」に掲載されている。 <https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/>
 - ・その他関連規格類

第 2 節 適用除外

- 本工事では、土木工事共通仕様書（令和8年8月）広島版（適用区分「広島」及び「広島県」）における下記の項目については適用しない。
- ・ **1-1-2-14** 施工管理 1. 標示板の設置
 - ・ **1-1-3-7** 契約後 V E 工事
 - ・ **1-1-3-9** 県産木材の活用
 - ・ **3-1-1-7** 工事完成図書納品の納品 6. 地質調査の電子成果品等

第 3 節 用語等の読みかえ

土木工事共通仕様書（令和8年8月）広島版（適用区分「広島」及び「広島県」）に規定されている用語等については次のとおり読みかえる。

土木工事共通仕様書に規定されている用語等			特記仕様書第 1 章総則で読みかえる用語等
1-1-1-2 用語の定義	6. 設計図書	工事数量総括表	本工事費内訳書
1-1-2-1 適用	2. 共通仕様書の適用	土木工事監督規程	庄原市建設工事監督規程
1-1-2-1 適用	2. 共通仕様書の適用	土木工事検査規程	庄原市建設工事検査規程
1-1-2-2 用語の定義	1. 監督職員	建設工事執行規則（平成8年6月11日規則第39号）	庄原市建設工事執行規則（平成17年3月31日規則第135号）
1-1-2-2 用語の定義	2. 総括監督員	広島県契約規則（昭和39年4月1日規則第32号）	庄原市契約規則（平成17年3月31日規則第47号）
1-1-2-2 用語の定義	4. 技術検査	土木工事検査技術基準	庄原市建設工事検査基準
1-1-2-2 用語の定義	5. 検査職員	建設工事執行規則（平成8年6月11日規則第39号）	庄原市建設工事執行規則（平成17年3月31日規則第135号）
1-1-2-5 工事の下請負	1. 下請負者の資格	広島県の建設工事入札参加資格	庄原市の建設工事入札参加資格
1-1-2-5 工事の下請負	2. 指名除外	広島県の「建設業者等指名除外要綱」の指名停止	庄原市建設業者指名除外基準要綱の指名除外
1-1-2-5 工事の下請負	5. 下請け	広島県内	庄原市内
1-1-2-5 工事の下請負	6. 県外業者を下請業者とする場合の理由書	県外	市外

第 4 節 現場代理人の兼務

- 1 受注者は、請負金額が 4,500万円（建築一式工事にあつては、9,000万円）未満に該当し、現場代理人の工事現場への常駐を要しないこととされた場合であつて、かつ、次に掲げる条件をいずれも満たすときは、本件工事における現場代理人について、他の公共工事の現場における現場代

理人又は技術者等との兼務を発注者に申請することができる。

- (1) 兼務する工事が公共工事であり、庄原市内の工事であること。
- (2) 兼務する工事件数が本件工事を含め5件（災害復旧工事に係る件数を除く）以内であること。
- (3) 兼務する工事が同一の発注者によるものでない場合は、兼務先の発注者が兼務を承認したことを証する書面の写しを提出できること。
- (4) 監督職員等の求めにより、速やかに工事現場に向かう等適切な対応ができること。

なお、(3)に掲げる書類については、兼務を予定する工事の発注者の承認手続に時間を要するなど、やむを得ない事情があると認められる場合には、申請後の提出も認めるものとするが、兼務する工事の発注者の承認後、速やかに兼務を承認したことを証する書面の写しを提出すること。

また、兼務の申請先が同一の発注者である場合には、兼務を希望するいずれかの工事について、申請を行えば足りるものとする。

- 2 受注者は、請負金額が4,500万円（建築一式工事にあつては、9,000万円）以上に該当し、工事箇所が10km程度以内で密接な関係のある他の公共工事（建設業法施行令（昭和31年政令第273号）第27条第2項が適用される工事として、同一の専任の主任技術者による工事の管理が認められるものに限る。）において現場代理人又は主任技術者として配置されている期間であつて、かつ、次に掲げる条件をいずれも満たすときは、本件工事における現場代理人について、他の公共工事の現場における現場代理人又は技術者等との兼務を発注者に申請することができる。

- (1) 兼務する工事件数が本件工事を含め2件以内であること。
- (2) 兼務する工事箇所が全て庄原市内であること。
- (3) 兼務する工事が同一の発注者によるものでない場合は、兼務先の発注者が兼務を承認したことを証する書面の写しを提出できること。
- (4) 監督職員等の求めにより、速やかに工事現場に向かう等適切な対応ができること。

なお、(3)に掲げる書類については、兼務を予定する工事の発注者の承認手続に時間を要するなど、やむを得ない事情があると認められる場合には、申請後の提出も認めるものとするが、兼務する工事の発注者の承認後、速やかに兼務を承認したことを証する書面の写しを提出すること。

また、兼務の申請先が同一の発注者である場合には、兼務を希望するいずれかの工事について、申請を行えば足りるものとする。

- 3 発注者は、受注者からの申請に基づき、兼務する各工事の内容、工程等を勘案し、現場代理人の兼務について承認の適否を決定し、速やかに受注者に通知する。
- 4 発注者は現場代理人の兼務について、次に掲げる事由に該当すると認めたときは、兼務の承認を取消すものとする。
 - (1) 兼務を予定する工事の発注者が兼務を承認しないことが明らかになったとき。
 - (2) 兼務を承認した日から起算して14日（庄原市の休日を定める条例（平成17年3月31日条例第2号）第1条に規定する市の休日を除く。）を経過した後においても、兼務先の発注者が兼務を承認したことを証する書面の写しが提出されないとき。
 - (3) 兼務申請において、重要な事項について虚偽の申告をし、又は重要な事実の申告を行わなかったことが判明したとき。
 - (4) 兼務の承認後、重要な事項や重大な状況の変化について報告を行わない等、必要な報告を怠ったことが判明したとき。
 - (5) 著しい状況の変化により、兼務をすることが適当でなくなったとき。
 - (6) その他、発注者の判断で兼務をすることが適当でなくなったとき。
- 5 重要な事項について虚偽の申告を行う等、不適切な申請を行った者、又は、兼務後に重要な事項や重大な状況の変化について報告を行わない等、必要な報告を怠った者に対しては、請負契約に基づく是正措置の請求や指名除外等の必要な措置を行なうことがある。

- 1 建設業法第26条第3項第1号の規定（以下、「専任特例1号」という。）の適用を受ける主任技術者又は監理技術者の配置を行う場合は次の要件をすべて満たすこと。
 - (1) 主任技術者又は監理技術者が兼務する工事の数は、本工事を含め2件までとする。ただし、同一あるいは別々の発注者が、同一の建設業者と締結する契約工期の重複する複数の請負契約に係る工事であって、かつ、それぞれの工事の対象となる工作物等に一体性が認められるものについては、これら複数の工事を一の工事とみなす。
 - (2) 工事現場間の距離が、同一の主任技術者又は監理技術者が1日の勤務時間内に巡回可能であり、かつ工事現場において災害・事故その他の事象が発生した場合において、工事現場間の移動時間がおおむね2時間以内であること。
 - (3) 下請次数が3を超えないこと。
 - (4) 連絡員（土木一式工事又は建築一式工事の場合は、1年以上の当該業務の実務経験を有する者）を工事現場に配置すること。
 - (5) 工事現場の施工体制を、主任技術者又は監理技術者が情報通信技術（CCUS等）を利用する方法により確認するための措置を講じていること。
 - (6) 人員の配置を示す計画書を作成し、工事現場毎及び営業所に備え置くこと。
 - (7) 主任技術者又は監理技術者が、当該工事現場の状況の確認をするために必要な映像及び音声の送受信が可能な情報通信機器（スマートフォンやタブレット端末等）が設置され、かつ当該機器を用いた通信を利用することが可能な環境が確保されていること。
 - (8) 兼務する工事についても、上記（2）～（7）の要件を全て満たすこと。
 - (9) 上記のほか、監理技術者制度運用マニュアルにおける専任特例1号に係る条件を満たすこと。
- 2 専任特例1号を適用する主任技術者又は監理技術者を配置する場合には、前項（2）～（8）を確認するため、施工計画書に前項（6）の「人員の配置を示す計画書」を添付すること。
- 3 建設業法第26条第3項第2号の規定（以下、「専任特例2号」という。）の適用を受ける監理技術者の配置を行う場合は次の要件をすべて満たすこと。
 - (1) 建設業法施行令第29第1項で定める者（以下「監理技術者補佐」という。）を専任で配置すること。
 - (2) 監理技術者補佐の建設業法第27条の規定に基づく技術検定種目は、監理技術者に求める技術検定種目と同一であること。
 - (3) 監理技術者補佐は入札参加者と直接的かつ恒常的な雇用関係にあること。
 - (4) 監理技術者が兼務する工事の数は、本工事を含め2件までとする。ただし、同一あるいは別々の発注者が、同一の建設業者と締結する契約工期の重複する複数の請負契約に係る工事であって、かつ、それぞれの工事の対象となる工作物等に一体性が認められるものについては、これら複数の工事を一の工事とみなす。
 - (5) 監理技術者が兼務する工事の施工箇所は、工事箇所の間隔が10km程度以内であること。
 - (6) 監理技術者は施工に係る主要な会議への参加、現場の巡回及び主要な工程の立会等の職務を適正に遂行すること。
 - (7) 監理技術者は監理技術者補佐との間で常に連絡が取れる体制とすること。
 - (8) 監理技術者補佐が担う業務等について、明らかにすること。
 - (9) 上記のほか、監理技術者制度運用マニュアルにおける専任特例2号に係る条件を満たすこと。
- 4 専任特例2号を適用する監理技術者を配置する場合には、前項(6)～(8)を確認するため、施工計画書に業務分担、連絡体制等を記載すること。
- 5 建設業法第26条の5第1項の規定の適用を受ける営業所技術者等（営業所技術者及び特定営業所技術者）又は建設業法第26条の5第1項の規定を準用する経營業務の管理責任者の配置を行う場合は次の要件をすべて満たすこと。
 - (1) 配置する営業所（経營業務の管理責任者の場合は主たる営業所）で請負契約を締結
 - (2) 配置する工事現場の数が1であること。
 - (3) 配置する営業所と工事現場間が、1日の勤務時間内に巡回可能な距離で、かつ工事現場において災害・事故その他の事象が発生した場合に

における当該工事現場と当該営業所との移動時間がおおむね２時間以内であること。

- (４) 下請次数が３を超えないこと。
 - (５) 連絡員（土木一式工事又は建築一式工事の場合は、１年以上の当該業務の実務経験を有する者）を当該営業所及び工事現場に配置すること。
 - (６) 工事現場の施工体制を、営業所技術者等（営業所技術者及び特定営業所技術者）又は経營業務の管理責任者が情報通信技術（CCUS等）を利用する方法により確認するための措置を講じていること。
 - (７) 人員の配置を示す計画書を作成し、工事現場及び営業所に備え置くこと。
 - (８) 当該営業所から当該工事現場の状況確認のために必要な映像及び音声の送受信が可能な情報通信機器（スマートフォンやタブレット端末等）が設置され、かつ当該機器を用いた通信を利用することが可能な環境が確保されていること。
 - (９) 上記のほか、監理技術者制度運用マニュアルにおける営業所技術者等（営業所技術者及び特定営業所技術者）に係る条件を満たすこと。
- 6 建設業法第26条の５第１項の規定を受ける営業所技術者等（営業所技術者及び特定営業所技術者）又は建設業法第26条の５第１項の規定を準用する経營業務の管理責任者を配置する場合には、前項（３）～（８）を確認するため、施工計画書に前項（７）の「人員の配置を示す計画書」を添付すること。

第 6 節 中間検査

本工事は、中間検査の対象工事とし、実施については次のとおり取り扱う。

- 1 中間検査の実施は、工事の主要工程を考慮し、施工上の重要な変化点等で行うものとし、時期選定は、監督職員が行う。
- 2 原則として、請負代金額が 2,000万円以上 2 億円未満の工事は、中間検査を 1 回実施し、2 億円以上の工事は 2 回実施する。ただし、災害復旧工事等については、請負代金額が 5,000万円以上 2 億円未満の工事について、中間検査を 1 回実施し、2 億円以上の工事は、2 回実施する。

第 7 節 情報共有システム

本工事は、受注者からの申し出により監督員が承諾した場合に限り、情報共有システムを利用することができる。なお、利用することとなった場合には土木工事共通仕様書 [1-1-1-26](#) 施工管理「10. 工事情報共有化」に従うこと。

第 8 節 工事現場の現場環境改善費

本工事は、現場環境改善及び地域連携に資する経費に関して、設計計上を行っており、実施については土木工事共通仕様書 [1-1-3-10](#) 工事現場の環境改善等に従うこと。

第 9 節 週休二日制工事

本工事は、週休二日制工事（受注者希望型）であり、「庄原市週休二日制工事実施要領」に従うこと。

なお、実施要領に基づき提出する必要のある様式「週休二日制工事希望届出書」、「休日取得工程表」、「休日取得状況表」は、「庄原市HP＞市政情報＞入札・契約・公売＞各種様式（建設工事等の入札・契約関係）＞建設工事関係」に掲載している。

第 10 節 工事関係書類の事前協議（情報共有システム利用工事に限る。）

受注者は、「土木工事書類作成マニュアル（案）令和２年11月（令和７年８月改定）広島県」に記載のある「2 工事関係書類一覧」に基づき、工事着手前に、工事書類の電子又は紙による提出又は提示方法を監督員と事前協議し決定する。ただし、出来形管理図表・品質管理表・工事写真の提出又は提示方法については、紙に変更できるものとする。

第 11 節

法令及び条例等の遵守

- 1 次の内容について、施工計画書の「その他」項目に記載すること。
 - (1) 工事の実施にあたり、発注者から明示された、又は、受注者が行うべき「法令及び条例等に基づく各種手続き及び許可承諾条件」
 - (2) 上記(1)の内容について「不測の事態等が生じた場合の対応方法」
 - (3) 上記(1)、(2)の内容について「現場作業に従事する者に対する周知の方法」
- 2 「施工方法」等の関連する項目に、許可承諾条件等を適切に反映すること。
- 3 「法令及び条例等に基づく各種手続き及び許可承諾条件」等の変更が生じた場合は、施工計画書の内容に重要な変更が生じたものとし、変更施工計画書を提出すること。

第 12 節

建設副産物

本工事における建設副産物については、土木工事共通仕様書 1-1-2-11 建設副産物のとおり取り扱うこととする。なお、「再生資源利用計画」、「再生資源利用促進計画」及び「実施書の提出」については、次のとおりとする。

1 再生資源利用計画及び再生資源促進計画

受注者は、コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト混合物等を工事現場に搬入する場合には、法令に基づき、再生資源利用計画を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。また、受注者は、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥又は建設混合廃棄物等を工事現場から搬出する場合には、法令に基づき、再生資源利用促進計画（5の確認結果票を含む）を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。なお、その内容に変更が生じたときは、速やかに利用計画及び促進計画を変更し、監督職員に報告しなければならない。

2 計画の掲示及び公表

受注者は、1の再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。現場掲示様式については、次のURLを参考に作成すること
https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/recycle/d03project/d0306/page_03060101credas1top.htm

3 実施書の提出

受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を作成した場合には、工事完了後速やかに実施状況を記録した再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を監督職員に提出しなければならない。なお、受注者は、再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書の作成後、工事完成から5年間保存しなければならない。

4 工事現場の管理体制

受注者は、再生利用の促進を行うため、工事現場における建設副産物責任者を置くことにより、管理体制を整備するとともに、当該責任者に対し、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画の内容について現場担当者の教育を十分行うこと及び、関係する他の施工者及び資材納入業者もこれを周知徹底することを指導するものとする。

5 建設発生土搬出に関する関係法令の手続きの確認及び確認結果票の作成

受注者は、再生資源利用促進計画の作成にあたり、建設発生土を工事現場から搬出する場合は、あらかじめ次に掲げる事項を確認し、また各事項の確認の結果を記載した書面（確認結果票）を作成しなければならない。※確認結果票は「広島県の調達情報」に掲載している。

- (1) 工事現場内の土地の掘削その他の土地の形質の変更が土壤汚染対策法（平成14年法律第53号）第3条第7項又は第4条第1項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。

- (2) 再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先における建設発生土の搬入に係る行為に関する次に掲げる事項
 - ア 当該行為が宅地造成及び特定盛土等規制法（昭和36年法律第191号。以下「盛土規制法」という）第12条第1項、第16条第1項、第30条第1項又は第35条第1項の規定による許可を要する場合にあっては、当該許可を受けている。
 - イ 当該行為が盛土規制法第21条第1項、第27条第1項、第28条第1項又は第40条第1項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。
- (3) 上記(1)、(2)に掲げる事項のほか、再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先が適正であることを確認するために必要な事項その他の建設発生土の搬出に関する事項
- 6 運搬業者への通知

受注者は、建設発生土の運搬を行う者に対し、再生資源利用促進計画及び確認結果票の内容を通知するものとする。またその内容に変更が生じたときには、速やかに運搬を行う者に通知するものとする。
- 7 確認結果票の掲示及び公表

受注者は、確認結果票を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。
- 8 確認結果票の保管

受注者は、確認結果票を建設工事の完成後5年間保存するものとする。
- 9 建設発生土の搬出先に対する受領書の交付請求

受注者は、建設発生土を再生資源利用促進計画に記載した搬出先へ搬出したときは、速やかに当該搬出先の管理者（搬出先が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、次に掲げる事項を記載した受領書の交付を求めるものとする。

 - (1) 建設発生土の搬出先の名称（搬出先が工事現場である場合は、建設工事の名称。）及び所在地
 - (2) 建設発生土を搬出先の受注者の商号、名称又は氏名
 - (3) 建設発生土の搬出元の名称及び所在地
 - (4) 建設発生土の搬出量
 - (5) 建設発生土の搬出が完了した日
- 10 建設発生土の搬入元への受領書の交付

受注者は、建設発生土を利用計画に記載した搬入元から搬入したときは、速やかに当該搬入元の管理者（搬入元が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、前号に掲げる事項を記載した受領書を交付するものとする。
- 11 受領書の内容確認

受注者は、搬出先から受領書の交付を受けたときは、再生資源利用促進計画に記載した内容と一致することを確認する。
- 12 受領書の保管

受注者は、受領書又はその写しを建設工事の完成後5年間保存するものとする。
- 13 建設発生土の最終搬出先までの確認

受注者は、建設発生土が再生資源利用促進計画に記載した搬出先（次の(1)から(4)のいずれかに該当する搬出先を除く。）から他の搬出先へ搬出されたときは、速やかに、当該他の搬出先への搬出に関する9(1)～(5)に関する事項を記載した書面を作成するとともに、当該書面を当該再生資源利用促進計画に係る建設工事の完成後5年間保存するものとする。建設発生土が更に他の搬出先へ搬出されたときも、同様とする。

 - (1) 国又は地方公共団体が管理する場所であって、受入れ完了後に当該国又は地方公共団体が受領書を交付する場合
 - (2) 受注者の管理下にある他の工事現場で利用するために一時堆積する場合

- (3) スtockヤード運営事業者登録規定により国に登録されたStockヤード
- (4) 9の受領書の土砂の利用種別が「盛土利用等」である建設発生土受入地（再搬出しないもの）

第 2 章 材 料

第 1 節 寒中コンクリート

当該工事における次の対象構造物は寒中コンクリートとして施工し、次のとおり取り扱うこと。

- 1 対象構造物
令和 8 年 12 月 1 日から 令和 9 年 2 月 28 日 までの期間に施工するコンクリート構造物。
ただし、ダムコンクリート（砂防ダムを除く）、トンネル坑内、場所打ちコンクリート杭、均しコンクリートは除く。
- 2 養生方法
養生方法は給熱養生を標準とし、詳細については監督職員と協議すること。
- 3 打設数量の確認
対象構造物のコンクリート打設数量については、施工後、打設図等の数量確認資料を作成し監督職員へ提出すること。

第 3 章 施工条件

第 1 節 盛 土

- 1 流用土（工事内流用）
本工事の施工により発生する土のうち、 21 m³（地山土量）については当該工事に流用するものと見込んでいる。

第 2 節 建設副産物

- 1 建設発生土〔搬出〕（建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時堆積））（指定処分（A））
当該工事により発生する建設発生土は、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時堆積）のいずれかに搬出するものとする。
また、搬出先として、建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時堆積）のうち、運搬費と受入費の合計が最も経済的になる次の施設を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き残土処分に要する費用（単価）は変更しない。
搬出場所 (株)宮田木材 光森処分場 庄原市東城町加谷字大鉄穴5081-2
なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時堆積）への搬出が困難となった場合は、発注者と受注者が協議の上、設計変更の対象とする。

第 4 章 その他

- 1 本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または、その内容に疑義が生じた場合は、監督職員の指示を受けること。
- 2 事前に関係河川漁協と協議を行い、同意等の承諾を得ること。
- 3 本工事における濁水の影響が想定される場合は、監督職員と協議すること。

令和 8 年度

市道笑田線 道路改良工事

庄原市東城町小奴可

地内

工 事 価 格

消 費 税 相 当 額

工 事 費 計

積 算 情 報

工事名	市道笑田線 道路改良工事		
執行年度	令和 8 年度	諸経費区分	公共 令和08年度
工種区分	道路改良工事	変更回数	
単価適用年月日	令和 8年 8月 1日付 公共	単価地区	53:庄原市(旧東城町)
機損適用年月日	令和 8年度 公共	歩掛適用年月日	令和 8年 8月 公共

補 正 情 報

施工地域及び 工事場所による補正率	共通仮設費 一般交通影響有り(2)-2 現場管理費 一般交通影響有り(2)-2 現場環境改善費 ... 大都市・市街地以外
現場環境改善費	計上する
冬期補正	冬期補正無 (0.00 %)
緊急工事補正	緊急工事補正無
前払支出割合区分	3 5 %を超え 4 0 %以下
契約保証に係る補正	発注者が金銭的保証を必要とする場合

市道笑田線

総 括 表						
費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
工事費						
	1	式				
本工事費						
	1	式				
道路改良工事02						
	1	式				
合計						

庄原市

諸 経 費 設 定 情 報	
名 称	値
【 週休2日補正 】	補正なし
< 公共工事 >	
【 工区名称：道路改良工事02】	
[工種]	道路改良工事
[主要項目]	
施工地域	一般交通影響有り(2)-2
前払金支出割合区分	35%を超え40%以下
契約保証に係る補正	発注者が金銭的保証を必要とする場合
諸経費を前回金額に固定	前回金額に固定しない
[共通仮設費]	
率指定	しない
補正係数の加重平均まるめ	小数3位四捨五入2位止め
[現場環境改善費]	
現場環境改善費計上区分	計上する
率指定	しない
施工地域区分	大都市・市街地以外
積み上げ上限チェック	する
[現場管理費]	
率指定	しない
施工時期、工事期間による補正	行わない
緊急工事補正	緊急工事補正無
補正係数の加重平均まるめ	小数3位四捨五入2位止め
[一般管理費等]	
率指定	しない
工事価格端数調整	千円止め
[間接労務費]	
[工場管理費]	
[工期延長等に伴う増加費用]	
工期延長等に伴う増加費用計上区分	計上しない

市道笑田線

[illegible]

本 工 事 費 内 訳 書

費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
道路改良工事02						
道路改良	1	式			Lv1	
道路土工	1	式			Lv2	
掘削工	1	式			Lv3	
掘削	1	式			Lv4	
掘削 片切掘削 土砂	380	m3			P 1 号	
掘削 片切掘削 破砕片除去無し 軟岩 集積押土無し	180	m3			P 2 号	
積込(ルーズ) 土砂 土量50,000m3未満	180	m3			P 3 号	
掘削 オープンカット 土砂 5,000m3未満 押土無し	190	m3			P 4 号	
法面整形工	1	式			Lv3	
法面整形(切土部)	1	式			Lv4	
法面整形 切土部 け質土、砂及び砂質土、粘性土 現場制約無し	120	m2			P 5 号	

本 工 事 費 内 訳 書						
費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
法面整形 切土部 砂質土、砂及び砂質土、粘性土 現場制約無し	500	m2			P 5 号	
法面整形 切土部 軟岩 I 現場制約無し	120	m2			P 6 号	
防草コンクリート	1	式			Lv3	
張りコンクリート	1	式			Lv4	
モルタル吹付工 厚7cm 施工規模500～1000m2未満 時間制約無し	45	m2			施 7 号	
残土処理工	1	式			Lv3	
土砂等運搬	1	式			Lv4	
土砂等運搬 標準 バックホウ バケット容量0.8m3 土砂 5.5km以下 DID区間無 代価損耗費(良好)含む	760	m3			P 8 号	
残土等処分	1	式			Lv4	
建設発生土受入費 砂・砂質土・礫質土 (榑宮田木材光森処分場 受入地 庄原市東城町)	760	m3				
法面工	1	式			Lv2	
植生工	1	式			Lv3	

本 工 事 費 内 訳 書						
費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
植生基材吹付	1	式			Lv4	
植生基材吹付工 厚3cm 施工規模100～250m2未満 時間制約無	120	m2			施 9 号	
植生基材吹付工 厚5cm 施工規模100～250m2未満 時間制約無	120	m2			施 10 号	
法面吹付工	1	式			Lv3	
モルタル吹付	1	式			Lv4	
モルタル吹付工 厚8cm 施工規模500～1000m2未満 時間制約無	498	m2			施 11 号	
石・ブロック積(張)工	1	式			Lv2	
コンクリートブロック工(コンクリートブロック積)	1	式			Lv3	
現場打基礎コンクリート	1	式			Lv4	
3号 基礎工 裏コン t = 150	7	m			単 12 号	
4号 岩着基礎工 18-8-40	3	m			単 13 号	
コンクリート(間知)ブロック積	1	式			Lv4	

本 工 事 費 内 訳 書

費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
コンクリートブロック積工 JIS滑面 150kg/個未満 昼間 時間制約無 練積 裏込コンクリート有	7	m2			施 14 号	
コンクリートブロック積工 JIS滑面 150kg/個未満 昼間 時間制約無 練積 裏込コンクリート有	30	m2			施 15 号	
胴込・裏込材(砕石)	1	式			Lv4	
胴込・裏込材(砕石) 間知・平・連節・緑化ブロック 再生砕石 RC-40	2	m3			P 16 号	
胴込・裏込材(砕石) 間知・平・連節・緑化ブロック 再生砕石 RC-40	8	m3			P 16 号	
排水構造物工	1	式			Lv2	
作業土工	1	式			Lv3	
床掘り	1	式			Lv4	
床掘り 土砂 平均施工幅1m以上2m未満 土留無し 障害無し	20	m3			P 17 号	
掘削 オープンカット 破砕片除去有(5万m3未満) 軟岩 1,000m3未満 集積押土無し	10	m3			P 18 号	
埋戻し	1	式			Lv4	
埋戻し 最大埋戻幅1m未満	20	m3			P 19 号	

本 工 事 費 内 訳 書						
費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
基面整正	1	式			Lv4	
基面整正	21	m2			P 20 号	
側溝工	1	式			Lv3	
プレキャストU型側溝	1	式			Lv4	
U型側溝据付け U1- (A) 道路用3種 300A 300×300×2000 昼間 時間制約無 基礎碎石施工有	18	m			施 21 号	
U型側溝据付け U1- (B) 道路用3種 300A 300×300×2000 昼間 時間制約無 基礎碎石施工無	22	m			施 22 号	
U型側溝据付け U-2 道路用3種 300A 300×300×2000 昼間 時間制約無 基礎碎石施工有	2	m			施 23 号	
U型側溝据付け 道路用3種 300A 300×300×2000 昼間 時間制約無 基礎碎石施工有	3	m			施 24 号	
小段水路 S-1 (A)	14	m			単 25 号	
縦水路 S-2 (A)	15	m			単 26 号	
側溝蓋	1	式			Lv4	
蓋版据付け 昼間 時間制約無	2	枚			施 27 号	

本 工 事 費 内 訳 書						
費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
落ち蓋側溝用グレーチングT-20 995*390*100・34.7k g /枚	2	枚				
蓋版据付け						
昼間 時間制約無	3	枚			施 27 号	
落ち蓋側溝用グレーチングT-14 995*390*100・29kg/枚	3	枚				
管渠工					Lv3	
	1	式				
暗渠排水管					Lv4	
	1	式				
暗渠排水管 据付 波状管 200～400mm 継手材料費要	32	m			P 28 号	
集水桝・マンホール工					Lv3	
	1	式				
集水桝					Lv4	
	1	式				
1号集水桝 下水桝450型	1	基			単 29 号	
2号集水桝 500*500*550・0.31m ³	1	基			単 30 号	
6号集水桝 500*500*550・0.43m ³	1	基			単 31 号	
直接工事費計						

本 工 事 費 内 訳 書						
費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
共通仮設費計	1	式				
共通仮設費(率化)	1	式				
共通仮設費率分	1	式				一般交通影響有り(2)-2
現場環境改善費率分	1	式				大都市・市街地以外
純工事費	1	式				
現場管理費	1	式				一般交通影響有り(2)-2
工事原価	1	式				
一般管理費等	1	式				金銭的保証を必要とする
工事価格	1	式				
消費税等相当額	1	式				
合計						

市道笑田線

【 第 1 号 施工パッケージ 】								1 m3 当り
掘削 片切掘削 土砂								
名 称 ・ 規 格	金額構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準	
【機械】			10.28					
バックホウ(クローラ) [標・超低騒音・排：2014年規制] バケット容量0.8m3			10.28					
【労務】			84.26					
普通作業員			74.39					
運転手 (特殊)			9.87					
【材料】			5.46					
軽油 パトロール給油, 2～4KL積載車給油			5.46					
【端数調整】								
[条件] [J1] = 1 土質 土砂			[J2] = 2	施工方法 片切掘削				

庄原市

市道笑田線

【 第 2 号 施工パッケージ 】								1 m3 当り
掘削 片切掘削 破砕片除去無し 軟岩								
(,集積押土無し)								
名 称 ・ 規 格	金額構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準	
【機械】			27.99					
バックホウ(クローラ) [標・超低騒音・排：2014年規制] バケット容量0.8m3			18.28					
大型ブレイカ(ヘースマン含まず) [油圧式] 通称 1300kg級			8.13					
その他(機械)								
【労務】			64.53					
特殊作業員			31.05					
運転手(特殊)			16.73					
普通作業員			13.10					
その他(労務)								
【材料】			7.48					
軽油 パトロール給油, 2～4KL積載車給油			7.06					
その他(材料)								

庄原市

市道笑田線

【 第 2 号 施工パッケージ 】 (続 き)

掘削 片切掘削 破碎片除去無し 軟岩

1 m3 当り

(, 集積押土無し)

[illegible]

市道笑田線

【 第 3 号 施工パッケージ 】 積込(ルーズ) 土砂 土量50,000m3未満							
名 称 ・ 規 格	金額構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
【機械】			40.95				
バックホウ(クローラ型) [標準型・排対:2014年規制] バケット容量0.8m3			40.95				
【労務】			39.50				
運転手 (特殊)			39.50				
【材料】			19.55				
軽油 パトロール給油, 2～4KL積載車給油			19.55				
【端数調整】							
[条件] [J1] = 1 土質 土砂			[J2] = 1	作業内容 土量50,000m3未満			

庄原市

市道笑田線

【 第 4 号 施工パッケージ 】								1 m3 当り
掘削 オープンカット 土砂 5,000m3未満								
(押土無し ,)								
名 称 ・ 規 格	金額構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準	
【機械】			44.63					
バックホウ(クローラ) [標・超低騒音・排：2014年規制] バケット容量0.8m3			44.63					
【労務】			35.43					
運転手 (特殊)			35.43					
【材料】			19.94					
軽油 パトロール給油, 2～4KL積載車給油			19.94					
【端数調整】								
[条件] [J1] = 1 土質 土砂			[J2] = 1	施工方法 オープンカット				
[J4] = 2 押土の有無 押土無し [J6] = 3 施工数量 5,000m3未満			[J5] = 1	障害の有無 障害無し				

庄原市

市道笑田線

【 第 5 号 施工パッケージ 】								1	m2 当り
法面整形 切土部 ㄥ質土、砂及び砂質土、粘性土									
(, 現場制約無し)									
名 称 ・ 規 格	金額構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準		
【機械】			8.80						
〈賃〉バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排1～3, 2011, 2014			8.80						
【労務】			81.51						
普通作業員			38.92						
運転手(特殊)			22.44						
土木一般世話役			20.15						
【材料】			9.69						
軽油 パトロール給油, 2～4KL積載車給油			9.69						
【端数調整】									
[条件] [J1] = 2 整形箇所 切土部			[J3] = 2	現場制約の有無	現場制約無し				
[J4] = 1 土質 ㄥ質土、砂及び砂質土、粘性土			[J5] = 1	費用の内訳 全ての費用					

庄原市

市道笑田線

【 第 6 号 施工パッケージ 】								1	m2 当り
法面整形 切土部 軟岩 I									
(, 現場制約無し)									
名 称 ・ 規 格	金額構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準		
【機械】			7.90						
＜賃＞バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排1～3, 2011, 2014			7.90						
【労務】			83.41						
普通作業員			42.66						
土木一般世話役			20.62						
運転手（特殊）			20.13						
【材料】			8.69						
軽油 パトロール給油, 2～4KL積載車給油			8.69						
【端数調整】									
[条件] [J1] = 2 整形箇所 切土部			[J3] = 2	現場制約の有無	現場制約無し				
[J4] = 4 土質 軟岩 I			[J5] = 1	費用の内訳 全ての費用					

庄原市

市道笑田線

【 第 7 号 施工単価表 】						
モルタル吹付工 厚7cm 施工規模500～1000m2未満				1 m2 当り		
(時間制約無 ,)						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
法面工 モルタル吹付工 厚7cm 【材工共】	1	m2				
諸 雑 費 (丸め)						
	1	式				
計						
単位当たり						
[条件]						
[A] = 3 吹付厚 厚7cm			[B] = 2 施工規模	施工規模500～1000m2未満		
[C] = 1 時間制約 時間制約無			[F] = 1 枠内吹付	区分 枠内吹付無		

庄原市

市道笑田線

【 第 8 号 施工パッケージ 】								1	m3 当り
土砂等運搬 標準 バックホウ バケット容量0.8m3 土砂 (5.5km以下 DID区間無 , 打付損耗費(良好)含む)									
名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準		
【機械】			42.89						
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 通称 10t積級			42.89						
【労務】			41.78						
運転手 (一般)			41.78						
【材料】			15.33						
軽油 パトロール給油, 2～4KL積載車給油			15.33						
【端数調整】									
[条件]									
[J1] = 1 土砂等発生現場 標準			[J2] = 1	積込機種・規格	バックホウ バケット容量0.8m3				
[J3] = 1 土質 土砂(岩塊・玉石混り土含む)			[J4] = 1	DID区間の有無	DID区間無				
[J5] = 8 運搬距離 5.5km以下									

庄原市

市道笑田線

【 第 9 号 施工単価表 】						
植生基材吹付工 厚3cm 施工規模100～250m2未満 (時間制約無 ,)						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
法面工 植生工(機械幡種施工) 植生基材吹付工 厚3cm 【材工共】	1	m2				
諸 雑 費 (丸め)						
	1	式				
計						
単位当たり						
[条件]						
[A] = 1 工種区分 植生基材吹付工 厚3cm			[B] = 4 施工規模	施工規模100～250m2未満		
[C] = 1 時間制約 時間制約無			[E] = 1 法面垂直高区分	法面垂直高補正無		
[F] = 1 枠内吹付区分 枠内吹付無						

庄原市

市道笑田線

【 第 10 号 施工単価表 】 植生基材吹付工 厚5cm 施工規模100～250m2未満 (時間制約無 ,)						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
法面工 植生工(機械幡種施工) 植生基材吹付工 厚5cm 【材工共】	1	m2				
諸 雑 費 (丸め)	1	式				
計						
単位当たり						
[条件]						
[A] = 3 工種区分 植生基材吹付工 厚5cm			[B] = 4 施工規模	施工規模100～250m2未満		
[C] = 1 時間制約 時間制約無			[E] = 1 法面垂直高区分	法面垂直高補正無		
[F] = 1 枠内吹付区分 枠内吹付無						

庄原市

市道笑田線

【 第 11 号 施工単価表 】						
モルタル吹付工 厚8cm 施工規模500～1000m2未満				1 m2 当り		
(時間制約無 ,)						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
法面工 モルタル吹付工 厚8cm 【材工共】	1	m2				
諸 雑 費 (丸め)						
	1	式				
計						
単位当たり						
[条件]						
[A] = 4 吹付厚 厚8cm			[B] = 2 施工規模	施工規模500～1000m2未満		
[C] = 1 時間制約 時間制約無			[F] = 1 枠内吹付	区分 枠内吹付無		

庄原市

市道笑田線

[illegible]

市道笑田線

【 第 13 号 単価表 】						
4号 岩着基礎工 18-8-40				10 m 当り		
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
コンクリート バックホ(クレーン機能付)打設 小型構造物 18-8-40高炉60% 養生無し	1.5	m3			P 33 号	
計						
単位当たり						

庄原市

市道笑田線

【 第 14 号 施工単価表 】						
コンクリートブロック積工 JIS滑面 150kg/個未満 (昼間 時間制約無 , 練積 裏込コンクリート有)				1	m2	当り
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
昼間_ブロック積工【手間のみ】						
時間的制約なし コンクリートブロック積工	1	m2				
積ブロック JIS滑面 150kg/個未満	1	m2				
生コンクリート 18-8-40 W/C60% 高炉	0.358	m3			施 34 号	
諸 雑 費 (丸め)	1	式				
計						
単位当たり						
[条件]						
[G] = 1 コンクリート積ブロックの規格 JIS滑面 150kg/個未満			[B] = 3 時間的制約の有無 時間制約無			
[C] = 2 夜間作業の有無 夜間作業無			[D] = 1 練積・空積区分 練積			
[E] = 1 裏込コンクリート施工区分 裏込コンクリート有			[F] = 0.320 m3 胴込・裏込コンクリート設計数量			
[N1] = 18 生コンクリート規格 18-8-40 W/C60%			[N2] = 2 セメント種別 高炉B種			
[N3] = 1 生コン小型車割増 小型車割増なし			[I] = 0.000 m3 胴込碎石設計数量			

庄原市

市道笑田線

【 第 15 号 施工単価表 】						
コンクリートブロック積工 JIS滑面 150kg/個未満						
(昼間 時間制約無 , 練積 裏込コンクリート有)						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
昼間_ブロック積工【手間のみ】						
時間的制約なし コンクリートブロック積工	1	m2				
積ブロック JIS滑面 150kg/個未満	1	m2				
生コンクリート 18-8-40 W/C60% 高炉	0.414	m3			施 34 号	
諸 雑 費 (丸め)	1	式				
計						
単位当たり						
[条件]						
[G] = 1 コンクリート積ブロックの規格 JIS滑面 150kg/個未満			[B] = 3 時間的制約の有無 時間制約無			
[C] = 2 夜間作業の有無 夜間作業無			[D] = 1 練積・空積区分 練積			
[E] = 1 裏込コンクリート施工区分 裏込コンクリート有			[F] = 0.370 m3 胴込・裏込コンクリート設計数量			
[N1] = 18 生コンクリート規格 18-8-40 W/C60%			[N2] = 2 セメント種別 高炉B種			
[N3] = 1 生コン小型車割増 小型車割増なし			[I] = 0.000 m3 胴込碎石設計数量			

庄原市

市道笑田線

【 第 16 号 施工パッケージ 】							
胴込・裏込材(砕石) 間知・平・連節・緑化ブロック (再生砕石 RC-40 ,)							
名 称 ・ 規 格	金額構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
【機械】			8.99				
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6) 吊能力2.9t 排1～3, 2011, 2014			8.99				
【労務】			68.98				
普通作業員			36.04				
特殊作業員			20.09				
運転手(特殊)			12.29				
その他(労務)							
【材料】			22.03				
再生クラッシャラン 40～0mm			17.76				
軽油 パトロール給油, 2～4KL積載車給油			4.27				
【端数調整】							
[条件] [J1] = 1 ブロックの種類 間知・平・連節・緑化ブロック			[J2] = 1	胴込・裏込材規格	再生砕石 RC-40		

庄原市

市道笑田線

【 第 17 号 施工パッケージ 】								1	m3 当り
床掘り 土砂 平均施工幅1m以上2m未満 (土留無し 障害無し ,)									
名 称 ・ 規 格	金額構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準		
【機械】			18.84						
＜賃＞後方超小旋回バックホウ(クローラ型) 山積0.45m3(平積0.35m3) 排対型1,2,3次 低騒音			18.84						
【労務】			66.89						
運転手 (特殊)			66.89						
【材料】			14.27						
軽油 パトロール給油, 2～4KL積載車給油			14.27						
【端数調整】									
[条件] [J1] = 1 土質 土砂			[J2] = 2	施工方法 平均施工幅1m以上2m未満					
[J3] = 1 土留方式の種類 無し			[J4] = 1	障害の有無 障害無し					

庄原市

市道笑田線

【 第 18 号 施工パッケージ 】							
掘削 オープンカット 破砕片除去有(5万m3未満) 軟岩 1,000m3未満 (,集積押土無し)							
名 称 ・ 規 格	金額構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
【機械】			49.69				
バックホウ(クローラ) [標・超低騒音・排：2014年規制] バケット容量0.8m3			29.03				
大型ブレイカ(ヘースマン含まず) [油圧式] 通称 1300kg級			12.90				
バックホウ(クローラ型) [標準型・排対：2014年規制] バケット容量0.8m3			5.25				
その他(機械)							
【労務】			33.20				
運転手(特殊)			31.61				
その他(労務)							
【材料】			17.11				
軽油 パトロール給油, 2～4KL積載車給油			16.29				
その他(材料)							
【端数調整】							

庄原市

市道笑田線

[illegible]

市道笑田線

【 第 19 号 施工パッケージ 】								1 m3 当り
埋戻し 最大埋戻幅1m未満								
名 称 ・ 規 格	金額構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準	
【機械】			8.51					
バックホウ(クローラ) [後方超小旋回・超低・排2014年] バケット容量0.45m3			7.96					
〈賃〉タンパ(ランマ) 質量60～80kg			0.55					
【労務】			87.87					
普通作業員			53.46					
特殊作業員			25.55					
運転手 (特殊)			8.86					
【材料】			3.62					
軽油 パトロール給油, 2～4KL積載車給油			2.78					
ガソリン, レギュラー スタンド渡し, スタンド給油			0.84					
【端数調整】								
[条件] [J1] = 4 施工方法 最大埋戻幅1m未満								

庄原市

市道笑田線

【 第 20 号 施工パッケージ 】 基面整正 1 m2 当り							
名 称 ・ 規 格	金額構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
【労務】			100.00				
普通作業員			100.00				
【端数調整】							

庄原市

市道笑田線

【 第 21 号 施工単価表 】 U型側溝据付け U1- (A) 道路用3種 300A 300×300×2000 (昼間 時間制約無 , 基礎碎石施工有) 10 m 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
昼間_U型側溝【手間のみ】 L=2000_1000kg/個以下 据付け 排水構造物工	10	m				
落ちふた式U形側溝(JISA5372)3種300A 300*300*2,000 参考質量419kg	5	本				
再生クラッシャー 40～0mm	0.672	m3				
諸 雑 費 (丸め)	1	式				
計						
単位当たり						
[条件]						
[A] = 1 作業区分 据付け			[B] = 1 L=1,000mm、4,000mmの使用の有無 無し			
[C] = 2 夜間作業の有無 夜間作業無			[D] = 20 U型側溝種類 道路用3種 300A 300×300×2000			
[E] = 3 規格・仕様区分 L=2000mm 1000kg/個以下			[F] = 3 時間制約の有無 時間制約無			
[G] = 1 施工箇所における補正 施工箇所補正無			[H] = 1 基礎碎石施工の有無 基礎碎石施工有			
[I] = 5 基礎碎石の種類 再生クラッシャー 40～0			[J] = 0.560 m3 基礎碎石設計数量			

庄原市

市道笑田線

【 第 22 号 施工単価表 】						
U型側溝据付け U1－(B) 道路用3種 300A 300×300×2000						
(昼間 時間制約無 ,基礎碎石施工無)						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
昼間_U型側溝【手間のみ】 L=2000_1000kg/個以下 据付け 排水構造物工	10	m				
落ちふた式U形側溝(JISA5372)3種300A 300*300*2,000 参考質量419kg	5	本				
諸 雑 費 (丸め)	1	式				
計						
単位当たり						
[条件]						
[A] = 1 作業区分 据付け			[B] = 1 L=1,000mm、4,000mmの使用の有無 無し			
[C] = 2 夜間作業の有無 夜間作業無			[D] = 20 U型側溝種類 道路用3種 300A 300×300×2000			
[E] = 3 規格・仕様区分 L=2000mm 1000kg/個以下			[F] = 3 時間制約の有無 時間制約無			
[G] = 1 施工箇所における補正 施工箇所補正無			[H] = 2 基礎碎石施工の有無 基礎碎石施工無			
[I] = 7 基礎碎石の種類 碎石計上無			[J] = 0.000 m3 基礎碎石設計数量			

庄原市

市道笑田線

【 第 23 号 施工単価表 】						
U型側溝据付け U-2 道路用3種 300A 300×300×2000						
(昼間 時間制約無 ,基礎碎石施工有)						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
昼間_U型側溝【手間のみ】 L=2000_1000kg/個以下 据付け 排水構造物工	10	m				
落ちふた式U形側溝(JISA5372)3種300A 300*300*2,000 参考質量419kg	5	本				
再生クラッシャー 40～0mm	0.672	m3				
諸 雑 費 (丸め)	1	式				
計						
単位当たり						
[条件]						
[A] = 1 作業区分 据付け			[B] = 1 L=1,000mm、4,000mmの使用の有無 無し			
[C] = 2 夜間作業の有無 夜間作業無			[D] = 20 U型側溝種類 道路用3種 300A 300×300×2000			
[E] = 3 規格・仕様区分 L=2000mm 1000kg/個以下			[F] = 3 時間制約の有無 時間制約無			
[G] = 1 施工箇所における補正 施工箇所補正無			[H] = 1 基礎碎石施工の有無 基礎碎石施工有			
[I] = 5 基礎碎石の種類 再生クラッシャー 40～0			[J] = 0.560 m3 基礎碎石設計数量			

庄原市

市道笑田線

【 第 24 号 施工単価表 】 U型側溝据付け 道路用3種 300A 300×300×2000 (昼間 時間制約無 ,基礎碎石施工有)						
10 m 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
昼間_U型側溝【手間のみ】 L=2000_1000kg/個以下 据付け 排水構造物工	10	m				
落ちふた式U形側溝(JISA5372)3種300A 300*300*2,000 参考質量419kg	5	本				
再生クラッシャー 40～0mm	0.672	m3				
諸 雑 費 (丸め)	1	式				
計						
単位当たり						
[条件]						
[A] = 1 作業区分 据付け			[B] = 1 L=1,000mm、4,000mmの使用の有無 無し			
[C] = 2 夜間作業の有無 夜間作業無			[D] = 20 U型側溝種類 道路用3種 300A 300×300×2000			
[E] = 3 規格・仕様区分 L=2000mm 1000kg/個以下			[F] = 3 時間制約の有無 時間制約無			
[G] = 1 施工箇所における補正 施工箇所補正無			[H] = 1 基礎碎石施工の有無 基礎碎石施工有			
[I] = 5 基礎碎石の種類 再生クラッシャー 40～0			[J] = 0.560 m3 基礎碎石設計数量			

庄原市

市道笑田線

【 第 25 号 単価表 】						
小段水路 S-1 (A)						
10 m 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
U型側溝据付け ベンチフレーム 300 L2000 小段面部 昼間 時間制約無 基礎碎石施工無	10	m			施 35 号	
コンクリート バックホウ(クレーン機能付)打設 小型構造物 18-8-40高炉60% 養生無し	1.3	m3			P 33 号	
型枠 一般型枠 小型構造物	3.4	m2			P 36 号	
計						
単位当たり						

庄原市

市道笑田線

【 第 26 号 単価表 】						
縦水路 S-2 (A)				10 m 当り		
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
U型側溝据付け ベンチフレーム 250 L2000 縦排水部 昼間 時間制約無 基礎碎石施工無	10	m			施 37 号	
コンクリート バックホウ(クレーン機能付) 打設 小型構造物 18-8-40高炉60% 養生無し	1	m3			P 33 号	
型枠 一般型枠 小型構造物	4	m2			P 36 号	
計						
単位当たり						

庄原市

市道笑田線

【 第 27 号 施工単価表 】						
蓋版据付け (昼間 時間制約無 ,)						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
昼間_蓋版【手間のみ】 コンクリート・鋼製_40kg/枚以下 据付け 排水構造物工	1	枚				
諸 雑 費 (丸め)	1	式				
計						
単位当たり						
[条件]						
[A] = 1 作業区分 据付け			[B] = 57 蓋版の種類 再利用撤去 又は材料別途計上			
[C] = 1 規格・仕様 コンクリート鋼製 40kg/枚以下			[D] = 3 時間制約の有無 時間制約無			
[E] = 2 夜間作業の有無 夜間作業無			[F] = 1 施工箇所における補正 施工箇所補正無			

庄原市

市道笑田線

【 第 28 号 施工パッケージ 】								1 m 当り
暗渠排水管 据付 波状管 200～400mm								
(継手材料費要 ,)								
名 称 ・ 規 格	金額構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準	
【労務】			7.92					
普通作業員			5.50					
土木一般世話役			2.42					
【材料】			92.08					
合成樹脂排水材(高密度ポリエチレン管) 内面波状管(有孔・無孔) 呼び径300mm 〈シングル構造〉			92.08					
【端数調整】								
[条件] [J1] = 1 作業区分 据付			[J2] = 3	管種別 波状管				
[J6] = 2 管規格 呼び径200～400mm			[J4] = 1	継手材料費 要				
[J5] = 1 費用の内訳 全ての費用								

庄原市

市道笑田線

【 第 29 号 単価表 】						
1号集水樹 下水樹450型				1 基 当り		
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
1号集水樹 プレキャスト集水樹 据付 50kg以上80kg以下 基礎碎石有り	1	基			P 38 号	
下水樹(本体) 呼び名450 参考質量122kg	1	基				
コンクリート 人力打設 小型構造物 18-8-40高炉60% 一般養生	0.03	m3			P 39 号	
型枠 一般型枠 小型構造物	0.13	m2			P 36 号	
計						
単位当たり						

庄原市

市道笑田線

【 第 30 号 単価表 】						
2号集水桝 500*500*550・0.31m3				1 基 当 り		
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
現場打ち集水桝・街渠桝(本体) バックホ打設 0.30m3を超え0.32m3以下 18-8-40高炉60% 一般・特殊養生(練炭)	1	箇所			P 40 号	
蓋版据付け 昼間 時間制約無	1	枚			施 41 号	
鋼製グレーチング・ノンスリップますぶた- 落込式細目(鎖付), 500×500, T-2 参考質量34.0kg	1	組				
計						
単位当たり						

庄原市

市道笑田線

【 第 31 号 単価表 】						
6号集水桝 500*500*550・0.43m3					1	基 当 り
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
現場打ち集水桝・街渠桝(本体) バックホ打設 0.43m3を超え0.46m3以下 18-8-40高炉60% 一般・特殊養生(練炭)	1	箇所			P 42 号	
蓋版据付け 昼間 時間制約無	1	枚			施 41 号	
鋼製グレーチング・ノンスリップますぶた- 落込式細目(鎖付), 500×500, T-25 参考質量65.1kg	1	組				
計						
単位当たり						

庄原市

市道笑田線

【 第 32 号 施工パッケージ 】							
現場打基礎コンクリート 基礎砕石有				1 m3 当り			
(18-8-40高炉60% ,一般・特殊養生(練炭))							
名 称 ・ 規 格	金額構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
【機械】			1.99				
〈賃〉バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6) 吊能力2.9t 排1～3, 2011, 2014			1.40				
〈賃〉バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排1～3, 2011, 2014			0.59				
【労務】			68.06				
普通作業員			18.84				
型わく工			18.09				
特殊作業員			10.23				
土木一般世話役			10.17				
その他(労務)							
【材料】			29.95				
レディーミクストコンクリート指定品 18-8-40 W/C(60%), 高炉			25.86				
軽油 パトロール給油, 2～4KL積載車給油			1.45				

庄原市

市道笑田線

[illegible]

市道笑田線

【 第 33 号 施工パッケージ 】							
コンクリート パックホウ(クレーン機能付)打設 小型構造物							
(18-8-40高炉60% ,養生無し)							
名 称 ・ 規 格	金額構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
【機械】			3.45				
〈賃〉バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排1～3, 2011, 2014			3.26				
その他(機械)							
【労務】			33.51				
特殊作業員			10.47				
普通作業員			7.94				
運転手(特殊)			6.66				
土木一般世話役			6.55				
その他(労務)							
【材料】			63.04				
レディーミクストコンクリート指定品 18-8-40 W/C(60%), 高炉			61.20				
軽油 パトロール給油, 2～4KL積載車給油			1.74				

庄原市

市道笑田線

[illegible]

市道笑田線

【 第 34 号 施工単価表 】						
生コンクリート 18-8-40 W/C60% 高炉				1 m3 当り		
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
レディーミクストコンクリート指定品 18-8-40 W/C(60%), 高炉	1	m3				
計						
単位当たり						
[条件] [N1] = 18 生コンクリート規格 18-8-40 W/C60%			[N2] = 2 セメント種別 高炉B種			
[N3] = 1 生コン小型車割増 小型車割増なし						

庄原市

市道笑田線

【 第 35 号 施工単価表 】						
U型側溝据付け ベンチフレーム 300 L2000 小段面部						
(昼間 時間制約無 ,基礎碎石施工無)						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
昼間_U型側溝【手間のみ】 L=2000_1000kg/個以下 据付け 排水構造物工	10	m				
鉄筋コンクリートベンチフレーム (JISA5372附6)2種, 300×200×2000 参考質量146kg	5	本				
諸 雑 費 (丸め)	1	式				
計						
単位当たり						
[条件]						
[A] = 1 作業区分 据付け			[B] = 1 L=1,000mm、4,000mmの使用の有無 無し			
[C] = 2 夜間作業の有無 夜間作業無			[D] = 29 U型側溝種類 ベンチフレーム 300 L2000			
[E] = 3 規格・仕様区分 L=2000mm 1000kg/個以下			[F] = 3 時間制約の有無 時間制約無			
[G] = 2 施工箇所における補正 小段面部			[H] = 2 基礎碎石施工の有無 基礎碎石施工無			
[I] = 7 基礎碎石の種類 碎石計上無			[J] = 0.000 m3 基礎碎石設計数量			

庄原市

市道笑田線

【 第 36 号 施工パッケージ 】							
型枠 一般型枠 小型構造物							
1 m2 当り							
名 称 ・ 規 格	金額構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
【労務】			100.00				
型わく工			44.38				
普通作業員			30.83				
土木一般世話役			11.75				
その他(労務)							
【端数調整】							
[条件] [J1] = 1 型枠の種類 一般型枠			[J2] = 2	構造物の種類 小型構造物			

庄原市

市道笑田線

【 第 37 号 施工単価表 】						
U型側溝据付け ベンチフレーム 250 L2000 縦排水部 (昼間 時間制約無 ,基礎碎石施工無)						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
昼間_U型側溝【手間のみ】 L=2000_1000kg/個以下 据付け 排水構造物工	10	m				
鉄筋コンクリートベンチフレーム (JISA5372附6)2種, 250×175×2000 参考質量115kg	5	本				
諸 雑 費 (丸め)	1	式				
計						
単位当たり						
[条件]						
[A] = 1 作業区分 据付け			[B] = 1 L=1,000mm、4,000mmの使用の有無 無し			
[C] = 2 夜間作業の有無 夜間作業無			[D] = 28 U型側溝種類 ベンチフレーム 250 L2000			
[E] = 3 規格・仕様区分 L=2000mm 1000kg/個以下			[F] = 3 時間制約の有無 時間制約無			
[G] = 3 施工箇所における補正 縦排水部			[H] = 2 基礎碎石施工の有無 基礎碎石施工無			
[I] = 7 基礎碎石の種類 碎石計上無			[J] = 0.000 m3 基礎碎石設計数量			

庄原市

市道笑田線

【 第 38 号 施工パッケージ 】								1	基 当り
1号集水桝 プレキャスト集水桝 据付 50kg以上80kg以下 (基礎砕石有り ,)									
名 称 ・ 規 格	金額構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準		
【機械】			17.28						
＜賃＞バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.28m3(平積0.2)吊能力1.7t 排対型1,2,3次 低騒音			13.94						
その他(機械)									
【労務】			78.02						
運転手(特殊)			52.97						
普通作業員			5.98						
土木一般世話役			3.24						
特殊作業員			0.74						
その他(労務)									
【材料】			4.70						
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油			3.79						
その他(材料)									

庄原市

市道笑田線

[illegible]

市道笑田線

【 第 39 号 施工パッケージ 】								1	m3 当り
コンクリート 人力打設 小型構造物									
(18-8-40高炉60% , 一般養生)									
名 称 ・ 規 格	金額構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準		
【労務】			46.18						
普通作業員			28.56						
土木一般世話役			8.40						
特殊作業員			7.04						
その他(労務)									
【材料】			53.82						
レディーミクストコンクリート指定品 18-8-40 W/C(60%), 高炉			53.82						
【端数調整】									
[条件]									
[J1] = 2 構造物種別 小型構造物			[J9] = 3	打設工法 人力打設					
[N1] = 32 コンクリート規格 18-8-40(高炉)W/C60%			[J5] = 2	養生工の種類 一般養生					
[J7] = 1 現場内小運搬の有無 有り			[JB] = 1	費用の内訳 全ての費用					
[N3] = 1 生コン小型車割増 小型車割増なし									

庄原市

市道笑田線

【 第 40 号 施工パッケージ 】							
現場打ち集水桝・街渠桝(本体)バックホウ打設 0.30m3を超え0.32m3以下 (18-8-40高炉60% ,一般・特殊養生(練炭))							
名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
【機械】			0.77				
〈賃〉バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排1～3, 2011, 2014			0.66				
〈賃〉バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排1～3, 2011, 2014			0.07				
その他(機械)							
【労務】			86.53				
型わく工			34.31				
普通作業員			26.79				
土木一般世話役			10.87				
特殊作業員			2.37				
その他(労務)							
【材料】			12.70				
レディーミクストコンクリート指定品 18-8-40 W/C(60%), 高炉			12.00				

庄原市

市道笑田線

【 第 40 号 施工パッケージ 】 (続 き) 現場打ち集水桝・街渠桝(本体)パッキン打設 0.30m3を超え0.32m3以下 (18-8-40高炉60% ,一般・特殊養生(練炭))								1 箇所 当り
名 称 ・ 規 格	金額構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準	
軽油 パトロール給油, 2～4KL積載車給油			0.43					
その他(材料)								
【端数調整】								
[条件] [N1] = 11 コンクリート規格 18-8-40(高炉)W/C60%			[J2] = 6	1箇所当りコンクリート使用量 0.30m3を超え0.32m3以下				
[J4] = 1 コンクリート打設工法 パッキン(クレーン機能付)打設 [N3] = 1 生コン小型車割増 小型車割増なし			[J3] = 1	養生工の種類 一般養生・特殊養生(練炭)				

庄原市

市道笑田線

【 第 41 号 施工単価表 】						
蓋版据付け (昼間 時間制約無 ,)						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
昼間_蓋版【手間のみ】 コンクリート・鋼製_40を超え170kg/枚以下 据付け 排水構造物工	1	枚				
諸 雑 費 (丸め)	1	式				
計						
単位当たり						
[条件]						
[A] = 1 作業区分 据付け			[B] = 57 蓋版の種類 再利用撤去 又は材料別途計上			
[C] = 2 規格・仕様 コンクリート鋼製 40超170kg/枚以下			[D] = 3 時間制約の有無 時間制約無			
[E] = 2 夜間作業の有無 夜間作業無			[F] = 1 施工箇所における補正 施工箇所補正無			

庄原市

市道笑田線

【 第 42 号 施工パッケージ 】							
現場打ち集水桝・街渠桝(本体)バックホウ打設 0.43m3を超え0.46m3以下 (18-8-40高炉60% ,一般・特殊養生(練炭))							
名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
【機械】			0.85				
〈賃〉バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排1～3, 2011, 2014			0.74				
〈賃〉バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排1～3, 2011, 2014			0.07				
その他(機械)							
【労務】			84.98				
型わく工			33.23				
普通作業員			26.29				
土木一般世話役			10.77				
特殊作業員			2.61				
その他(労務)							
【材料】			14.17				
レディーミクストコンクリート指定品 18-8-40 W/C(60%), 高炉			13.44				

庄原市

市道笑田線

【 第 42 号 施工パッケージ 】 (続 き) 現場打ち集水桝・街渠桝(本体)パッキン打設 0.43m3を超え0.46m3以下 1 箇所 当り (18-8-40高炉60% ,一般・特殊養生(練炭))							
名 称 ・ 規 格	金額構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
軽油 パトロール給油, 2～4KL積載車給油			0.47				
その他(材料)							
【端数調整】							
[条件] [N1] = 11 コンクリート規格 18-8-40(高炉)W/C60%			[J2] = 12	1箇所当りコンクリート使用量 0.43m3を超え0.46m3以下			
[J4] = 1 コンクリート打設工法 パッキン(クレーン機能付)打設 [N3] = 1 生コン小型車割増 小型車割増なし			[J3] = 1	養生工の種類 一般養生・特殊養生(練炭)			

庄原市

工 事 数 量 総 括 表 1/5

工事名		市道 笑田線					事業区分		
							工事区分		
工事区分・工種・種別・細別			規 格		単位	数 量	数量(変更)	数量増減	摘 要
	道路改良工								
	準備工								
	伐開・除根				m ²				
	土工								
	掘削工	片切掘削	土砂	C1-1	m ³	384			
		〃	軟岩	C1-2	〃	184			
		オープン掘削	土砂	C1-3	〃	185			
		〃	軟岩	C1-4	〃	0			
		路盤掘削	礫	C	〃	0			
	盛土工	路肩盛土		B	m ³	0			
	作業土工	床掘	土砂	E1	m ³	21			
		〃	軟岩	E2	〃	11			
		〃	中硬岩	E3	〃	0			
		埋戻	D	Fu	〃	19			
		基面整正	土砂	K1	m ²	21			
	残土処分工	残土	土砂		m ³	764			
			破碎岩		〃	0			
					〃				

工事数量総括表 2/5

[illegible]

工 事 数 量 総 括 表 2/5

工事名	市道 笑田線測量設計業務					事業区分	
						工事区分	
工事区分・工種・種別・細別		規 格	単位	数 量	数量	数量増減	摘 要
	ブロック積工						
	2号 ブロック積工	350+100	m2	7			
	3号 ブロック積工	350+150	m2	30			
	2号 裏込め砕石	RC-40	m3	2			
	3号 裏込め砕石	RC-40	m3	8			
	2号 基礎工	520*300	m	0			
	3号 基礎工	550*350	m	7			
	4号 岩着基礎工		m	3			
	路面排水工						
	道路側溝工 U-1(A)	PU3-B300-H-300 土砂部	m	18			
	〃 U-1(B)	PU3-B300-H-300 岩部	〃	22			
	〃 U-2	横断部 グレーチング蓋 PU3-B300-H-300 土砂部	〃	1.5			グレーチングN= 2
	〃 U-3	グレーチング蓋 PU3-B300-H-300 土砂部	〃	3.0			グレーチングN= 3
	法面小段水路 S-1(A)	ベンチフリューム B300-H200 土砂部	〃	14			
	法面小段水路 S-1(B)	ベンチフリューム B300-H200 軟岩部	m	0			
	法面竪水路 S-2(A)	ベンチフリューム B250-H175 土砂部	〃	15			
	〃 S-2(B)	ベンチフリューム B250-H175 軟岩部	〃	0			

工 事 数 量 総 括 表 3/4

工事名	市道 笑田線測量設計業務					事業区分	
						工事区分	
工事区分・工種・種別・細別		規 格	単位	数 量	数量(変更)	数量増減	摘 要
	集水樹工 1号集水樹	下水溜樹口450	個	1			
	2号集水樹	現場打ち口500×550	〃	1			
	3号集水樹	現場打ち口1000×1300	〃	0			
	4号集水樹	現場打ち 500×1200×650	個	0			
	5号集水樹	現場打ち口800×1650	〃	0			
	6号集水樹	現場打ち口500×550	〃	1			
	コンクリート蓋	PC4-B300	枚				
	管渠工						
	1号接続管	重圧管φ600	m	0			
	排水管	PVCφ1000	m	0			
	排水管	高密度ポリエチレン管 内面波状管・Φ300mm	m	32			
	舗装工						
	アスファルト舗装工						
	表層舗装	再生密粒度アスコン t=4cm	m2	0	0		
	上層路盤	粒度調整碎石 t=7cm	〃	0	0		
	下層路盤	再生切込碎石 t=16cm	〃	0	0		
	摺付工	再生密粒度アスコン t=2cm	〃		0		
			〃				
		再生密粒度アスコン t=4cm	〃		0		0
		粒度調整碎石 t=7cm	〃		0		0
		再生切込碎石 t=16cm	〃		0		0

工 事 数 量 総 括 表 4/4

工事名	市道 笑田線測量設計業務					事業区分	
						工事区分	
工事区分・工種・種別・細別		規 格	単位	数 量	数量(変更)	数量増減	摘 要
	構造物撤去工						
	取壊し撤去工						
	アスファルト舗装取壊し	t=4cm	m ²	0			
	同上ガラ処分	アスファルト	m ³	0			
			t	0			
	舗装版切断		m	0			
	無筋構造物		m3	0			
	同上ガラ処分	無筋コンクリート	t	0			
	鉄筋構造物		m3	0			
	同上ガラ処分	鉄筋コンクリート	//	0			
			t	0			
	道路附帯工						
	防護柵工						
	ガードレール	Gr-C-4E	m				
	視線誘導標	丸型Φ300mm・基礎	本				
	仮設工						
	架橋工	φ300	m				
	土のう工	大型土のう	袋				
	ガードレール撤去・設置	構造物用	m				

土工集計表

[illegible]

土量配分表

- ・数量の単位はm3
- ・土の変化率(土砂)=0.9とする
- ・土の変化率(軟岩)=1.15とする

種 別	数 量
片切掘削(土砂) C1-1	383.9
片切掘削(軟岩) C1-2	183.8
オープン掘削(土砂) C1-3	184.8
オープン掘削(軟岩) C1-4	0.0
路盤掘削(礫) C	0.0
礫質土 合計	568.7
軟岩 合計	183.8

種 別	数 量
路肩盛土	0.0

0.0 *0.90 = 0.0

種 別	数 量
床掘(礫質土) E1	21.4
床掘(軟岩) E2	11.3
床掘(中硬岩) E3	0.0

種 別	数 量
埋戻 Fu	19.0

21.1 *0.90 = 19.0

		掘削		床掘		路肩		埋戻		
残土	礫質土	568.7	+	21.4	-	0.0	-	21.1	=	569.0
	軟岩	183.8	+	11.3	-		-		=	195.1
	中硬岩	0.0							=	0.0

計 第 表 土工 計 算 表								
測 点	距 離	片切（土砂） C1-1			片切（軟岩） C1-2			摘 要
		面 積	平 均	体 積	面 積	平 均	体 積	
	- m	0.0	-	-	0.0			
BP	1.5 m	0.0	0.00	0.0	0.0			
NO. 1	20.0 m	0.0	0.00	0.0	0.0			片切掘削
NO. 2	20.0 m	0.0	0.00	0.0	0.0			
BC. 1	17.2 m	0.0	0.00	0.0	0.0			
NO. 3	2.8 m	0.0	0.00	0.0	0.0			
NO. 4	20.0 m	0.0	0.00	0.0	0.0			
SP. 1	3.4 m	0.0	0.00	0.0	0.0			
NO. 5	16.6 m	0.0	0.00	0.0	0.0			
EC. 1	9.6 m	0.0	0.00	0.0	0.0			
NO. 6	10.4 m	0.0	0.00	0.0	0.0			
NO. 7	20.0 m	0.0	0.00	0.0	1.0			
NO. 7+7.7	7.7 m	1.0	0.50	3.9	0.0	0.00		
NO. 8	12.3 m	1.3	1.15	14.1	3.5	1.75	21.5	
BC. 2	9.5 m	28.8	15.05	143.0	12.8	8.15	77.4	
SP. 2	11.5 m	0.5	14.65	168.5	0.5	6.65	76.5	
+ 7.3	7.3 m	14.1	7.30	53.3	1.5	1.00	7.3	
EC. 2	4.2 m	0.0	0.25	1.1	0.0	0.25	1.1	
NO. 10	7.6 m		0.00	0.0	0.0			
NO. 11	20.0 m		0.00	0.0	0.0			
BC. 3	5.6 m		0.00	0.0	0.0			
SP. 3	9.5 m		0.00	0.0	0.0			
NO. 12	4.8 m		0.00	0.0	0.0			
EC. 3	4.7 m		0.00	0.0	0.0			
BC. 4	10.4 m		0.00	0.0	0.0			
NO. 13	4.1 m		0.00	0.0	0.0			重心距離
SP. 4	8.4 m		0.00	0.0	0.0			重心距離
NO. 14	7.0 m		0.00	0.0	0.0			重心距離
EC. 4	3.5 m		0.00	0.0	0.0			重心距離
	16.2 m		0.00	0.0	0.0			
合計	295.8 m			383.9			183.8	

計 第 表 土 工 計 算 表								
測 点	距 離	オープン（土砂） C1-3			オープン（軟岩） C1-4			摘 要
		面 積	平 均	体 積	面 積	平 均	体 積	
	- m	0.0			0.0			
BP	1.5 m	0.0			0.0			
NO. 1	20.0 m	0.0			0.0			
NO. 2	20.0 m	0.0			0.0			
BC. 1	17.2 m	0.0			0.0			
NO. 3	2.8 m	0.0			0.0			
NO. 4	20.0 m	0.0			0.0			
SP. 1	3.4 m	0.0			0.0			
NO. 5	16.6 m	0.0	0.00	0.0	0.0			
EC. 1	9.6 m	0.0	0.00	0.0	0.0			
NO. 6	10.4 m	0.0	0.00	0.0	0.0			
NO. 7	20.0 m	0.0	0.00	0.0	0.0			
NO. 8	20.0 m	0.0	0.00	0.0	0.0			
BC. 2	9.5 m	17.6	8.80	83.6	0.0	0.00	0.0	
SP. 2	11.5 m	0.0	8.80	101.2	0.0	0.00	0.0	
EC. 2	11.5 m	0.0	0.00	0.0	0.0			
NO. 10	7.6 m	0.0			0.0			
NO. 11	20.0 m	0.0			0.0			
BC. 3	5.6 m	0.0			0.0			
SP. 3	9.5 m	0.0			0.0			
NO. 12	4.8 m	0.0			0.0			
EC. 3	4.7 m	0.0			0.0			
BC. 4	10.4 m	0.0			0.0			
NO. 13	4.9 m	0.0			0.0			
SP. 4	10.0 m	0.0			0.0			
NO. 14	10.0 m	0.0			0.0			
EC. 4	4.9 m	0.0			0.0			
	16.2 m	0.0			0.0			
合計	302.6 m			184.8			0.0	

構 造 物 土 工 集 計 表

[illegible]

計 第		土工 (U-1A側溝)						計 算 表
測 点	距 離	床掘 (土砂) E1			埋戻 (D) Fu			摘 要
		面 積	平 均	体 積	面 積	平 均	体 積	
	- m	0.6			0.3			路側側溝
BP	m	0.6			0.3	0.30	0.0	
3号樹	- m	0.6			0.3			
NO. 8	12.3 m	0.6	0.60	7.4	0.3	0.30	3.7	
2号樹	- m	0.6			0.3			
6号樹	5.7 m	0.6	0.60	3.4	0.3	0.30	1.7	
EC. 2	m	0.6			0.3	0.30	0.0	
NO. 10	m	0.6			0.3	0.30	0.0	
NO. 11	m	0.6			0.3	0.30	0.0	
BC. 3	m	0.6			0.3	0.30	0.0	
SP. 3	m	0.6			0.3	0.30	0.0	
NO. 12	m	0.6			0.3	0.30	0.0	
EC. 3	m	0.6			0.3	0.30	0.0	
4号樹	m	0.6			0.3	0.30	0.0	
BC. 4	m	0.6			0.3	0.30	0.0	
2号樹	m	0.6			0.3	0.30	0.0	
NO. 13	m	0.6			0.3	0.30	0.0	
SP. 4	m	0.6			0.3	0.30	0.0	
NO. 14	m	0.6			0.3	0.30	0.0	
EC. 4	m	0.6			0.3	0.30	0.0	
合計	18.0 m			10.8			5.4	

計 第		表 土工 (U-1A側溝)			計 算 表			
測 点	距 離	基面整正 (土砂) K1						摘 要
		幅	平 均	面 積	面 積	平 均	体 積	
	- m	0.6						路側側溝
BP	m	0.6						
3号樹	- m	0.6						
NO. 8	12.3 m	0.6	0.60	7.4				
2号樹	- m	0.6						
6号樹	5.7 m	0.6	0.60	3.4				
EC. 2	m	0.6						
NO. 10	m	0.6						
NO. 11	m	0.6						
BC. 3	m	0.6						
SP. 3	m	0.6						
NO. 12	m	0.6						
EC. 3	m	0.6						
4号樹	m	0.6						
BC. 4	m	0.6						
2号樹	m	0.6						
NO. 13	m	0.6						
SP. 4	m	0.6						
NO. 14	m	0.6						
EC. 4	m	0.6						

[illegible]

[illegible]

計 第 表 土工（U-3側溝） 計 算 表								
測 点	距 離	床掘（土砂） E1			埋戻（D） Fu			摘 要
		面 積	平 均	体 積	面 積	平 均	体 積	
	- m	0.6			0.3			
NO. 9+9.8	m	0.6			0.3	0.30	0.0	
NO. 8	3.0	0.6	0.30	0.9	0.3	0.15	0.5	
合計	3.0 m			0.9			0.5	

計　第　　　表　　　土工（U-3側溝）　　　計　算　　　表								
測　　点	距　離	基面整正（土砂）K1						摘　要
		幅	平　均	面　積	面　積	平　均	体　積	
	- m	0.6						
NO. 9+9.8	m	0.6						
NO. 8	3.0	0.6	0.30	0.9				
合計	3.0 m			0.9				

計 第 表 土工 (S-1A法面水路 1段目) 計 算 表

測点	距離	床掘（土砂）E1			埋戻（D）Fu			摘要
		面積	平均	体積	面積	平均	体積	
N0.6+10.3	- m	0.3			0.2			
1号桧	m	0.3			0.2	0.20	0.0	
	- m	0.3			0.2			
BC. 2	6.6 m	0.3	0.30	2.0	0.2	0.20	1.3	
SP. 2	7.5 m	0.3	0.30	2.3	0.2	0.20	1.5	
1号桧	m	0.3			0.2	0.20	0.0	
	- m	0.3			0.2			
SP. 4	m	0.3			0.2	0.20	0.0	
N0. 14	m	0.3			0.2	0.20	0.0	
EC. 4	m	0.3			0.2	0.20	0.0	
	m	0.3			0.2	0.20	0.0	
合計	14.1 m			4.3			2.8	

計 第 表 土工 (S-1A法面水路 1段目) 計 算 表

測点	距離	基面整正（土砂）K1						摘要
		幅	平均	面積	面積	平均	体積	
N0. 6+10. 3	- m	0. 3						
1号桧	m	0. 3						
	- m	0. 3						
BC. 2	6. 6 m	0. 3	0. 30	2. 0				
SP. 2	7. 5 m	0. 3	0. 30	2. 3				
1号桧	m	0. 3						
	- m	0. 3						
SP. 4	m	0. 3						
N0. 14	m	0. 3						
EC. 4	m	0. 3						
	m	0. 3						
合計	14. 1 m			4. 3				

計 第		表 土工 (S-2A法面水路)						計 算 表
測 点	距 離	床掘 (土砂) E1			埋戻 (D) Fu			摘 要
		面 積	平 均	体 積	面 積	平 均	体 積	
BP	- m	0.3			0.2			
BP+7.0	m	0.3			0.2	0.20	0.0	
	- m	0.3			0.2			
BP	m	0.3			0.2	0.20	0.0	
NO. 2+11.0	- m	0.3			0.2			
NO. 2+16.0	m	0.3			0.2	0.20	0.0	
	- m	0.3			0.2			
NO. 4	m	0.3			0.2	0.20	0.0	
SP. 1	m	0.3			0.2	0.20	0.0	
EC. 1	- m	0.3			0.2			
NO. 6+4.0	m	0.3			0.2	0.20	0.0	
NO. 6+7.0	- m	0.3			0.2			
NO. 6+19.0	m	0.3			0.2	0.20	0.0	
NO. 6+19.0	- m	0.3			0.2			
NO. 7+8.0	m	0.3			0.2	0.20	0.0	
	- m	0.3			0.2			
NO. 9+9.0	15.0 m	0.3	0.30	4.5	0.2	0.20	3.0	
BC. 4	- m	0.3			0.2			
NO. 13	m	0.3			0.2	0.20	0.0	
合計	15.0 m			4.5			3.0	

計 第		表			土工（S-2A法面水路）			計 算		表
測 点	距 離	基面整正（土砂）K1						摘 要		
		幅	平 均	面 積	面 積	平 均	体 積			
BP	- m	0.3								
BP+7.0	m	0.3								
	- m	0.3								
BP	m	0.3								
NO. 2+11.0	- m	0.3								
NO. 2+16.0	m	0.3								
	- m	0.3								
NO. 4	m	0.3								
SP. 1	m	0.3								
EC. 1	- m	0.3								
NO. 6+4.0	m	0.3								
NO. 6+7.0	- m	0.3								
NO. 6+19.0	m	0.3								
NO. 6+19.0	- m	0.3								
NO. 7+8.0	m	0.3								
	- m	0.3								
NO. 9+9.0	15.0 m	0.3	0.30	4.5						
BC. 4	- m	0.3								
NO. 13	m	0.3								

法面整形工集計表

[illegible]

計 第 表 法面整形 (L1-1 片切土砂 一段目) 計 算 表								
測 点	距 離	L1-1 一段目			L1-1 一段目			摘 要
		法長	平 均	面 積	法 長	平 均	面 積	
	- m	9.5						
BP	m	0.0						
	- m	0.0						
NO. 8	9.0 m	2.6	1.30	11.7				
BC. 2	9.5 m	3.5	3.05	29.0				
SP. 2	11.5 m	0.0	1.75	20.1				
EC. 2	m	9.0						
NO. 10	m	7.7						
NO. 11	- m	0.0						
BC. 3	m	3.2						
SP. 3	m	2.6						
NO. 12	m	3.5						0
EC. 3	m	1.1						
	m	0.0						
	m	0.0						
NO. 13	m	6.8						
SP. 4	m	9.9						
NO. 14	m	9.9						
EC. 4	m	9.9						
	m	0.0						
小計	30.0 m			60.8				整形

計 第 表		法面整形 (L1-1 片切土砂 二段目)			計 算 表			
測 点	距 離	L1-1 二段目						摘 要
		法長	平 均	面 積	法 長	平 均	面 積	
	- m	0.0						
BP	m	5.6						
	m	9.4						
NO. 1	m	2.7						
	m	7.0						
NO. 2	m	4.3						
	m	1.3						
BC. 1	m	7.7						
NO. 3	m	7.4						
NO. 4	m	1.7						
SP. 1	m	2.3						
NO. 5	m	0.0						
	- m	0.0						
BC. 2	6.7 m	5.0	2.50	16.8				
SP. 2	11.5 m	2.3	3.65	42.0				
	m	0.0						
	- m	0.0						
NO. 13	m	3.6						
SP. 4	m	7.5						
NO. 14	m	6.4						
EC. 4	m	5.2						
	m	0.0						
小計	18.2 m			58.8		合計	119.6	整形

計 第 表 法面整形 (L1-2 片切軟岩 一段目) 計 算 表								
測 点	距 離	L1-2 一段目			厚層吹付工			摘 要
		法長	平 均	面 積	法 長	平 均	面 積	
	- m							
BP	m							
NO. 1	m							
NO. 2	m							
BC. 1	m							
	m							
NO. 4	m					0.00		
SP. 1	m							
	m							
	- m	0.0						
NO. 8	0.6 m	2.0	1.00	0.6				
BC. 2	9.5 m	6.4	4.20	39.9				
SP. 2	11.5 m	6.6	6.50	74.8				
	m	0.0						
NO. 4								
NO. 5								
EC. 1					8.2			
NO. 6					9.1			
					9.1			
NO. 7					7.2			
					2.0			
合計				115.3			0.0	

計 第 表 法面整形（L1-2 片切軟岩 一段目） 計 算 表								
測 点	距 離	L1-2 一段目			モルタル吹付工			摘 要
		法長	平 均	面 積	法 長	平 均	面 積	
	- m							
BP	m						モルタル 8cm	
NO. 1	m	8.2			8.2			
NO. 2	19.3 m	8.2	8.20	158.3	8.2	8.20	158.3	
BC. 1	17.2 m	8.2	8.20	141.0	8.2	8.20	141.0	
	2.9 m	8.2	8.20	23.8	8.2	8.20	23.8	
NO. 4	20.8 m	8.2	8.20	170.6	8.2	8.20	170.6	
	0.5 m	8.2	8.20	4.1	8.2	8.20	4.1	
	m							
	- m	0.0						
NO. 8	m	2.0						
BC. 2	m	6.4						
SP. 2	m	6.6						
	m	0.0						
					8.2			
SP. 1					8.2			
NO. 5					8.2			
EC. 1					8.2			
NO. 6								
NO. 7								
合計	60.7 m			497.8			497.8	

計 第 表 防草工 計 算 表

測 点	距 離	Kc			KC			摘 要	
		法長	平 均	面 積	法 長	平 均	面 積		
	- m							当初設計	
BP	m					0.00	0.0	2.0	
NO. 1	m					0.00	0.0	2.0	
NO. 2	m					0.00	0.0	2.0	
BC. 1	m					0.00	0.0	2.0	
NO. 3	m					0.00	0.0	2.0	
NO. 4	m					1.5		2.0	
	m					1.5		2.0	
						1.5	0.0	3.0	
SP. 1						1.5	0.0	4.0	
NO. 5	m			0.0		1.5	0.0	2.0	
EC. 1	m					1.5	0.0	2.0	
NO. 6	m					1.5	0.0	2.0	
NO. 7	m					1.5	0.0	2.0	
	m					1.5	0.0	2.0	
	m	1.5					0.0		
NO. 8	8.8 m	1.5	1.50	13.2			0.0		
BC. 2	9.5 m	1.5	1.50	14.3					
SP. 2	11.5 m	1.5	1.50	17.3					
	m								
BP	m								
NO. 1	m								
NO. 2	m								
BC. 1	m								
NO. 3	m								
NO. 4	m								
SP. 1	m								
NO. 5	m								
EC. 1	m								
NO. 6	m								
NO. 7	m								
	m								
	m								
合計				44.8					

路面排水工集計表

[illegible]

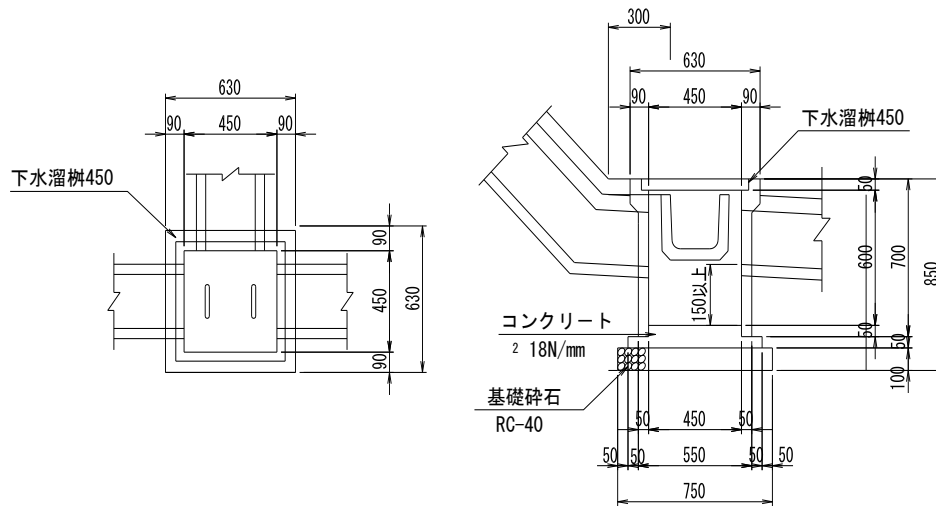
路面排水工 計 算 書								
U-1A			U-1B			S1-A		
位 置	延長	摘 要	位 置	延長	摘 要	位 置	延長	摘 要
BP			BP～N02+6.8			N06+10.2～1号 樹	0.0	1段目
N07+7.7～N08	12.3		N02+6.8～ N04+1.3			BC2～1号樹	14.1	〃
N09+3.1～ N09+9.1	5.7		N04+1.3～ N07+7.7			SP4～EC4		〃
N09+9.8～ N012+9.1			N08～6号樹	22.3		1号樹～N01		2段目
N012+9.1～ N012+14.6						1号樹～N03		〃
BC4+1.5～EC4			N02+9.1～ N07+6.4			N05～1号樹		〃
						1号樹～N01		3段目
						1号樹～N03		〃
						N05～1号樹		〃
合計	18.0		合計	22.3		合計	14.1	
計 算 書								
S1-B			S2-A			S2-B		
位 置	延長	摘 要	位 置	延長	摘 要	位 置	延長	摘 要
N01～1号樹		1段目	BP			BP		
BC1～1号樹		〃	BP～BP+7.0			N02+7.0		
SP1～N06		〃	N02+11.0～ N02+16.0			N04+1.5		
			N04					
			SP1	15.0				
			EC1～N06+4.0					
			N06+7.0～ N06+19.0					
			N06+19.0～ N07+8.0					
			N09+9.8					
			BC4～N013					
合計	0.0		合計	15.0		合計	0.0	

路面排水工 計 算 書								
U-2			U-3			排水管 φ 300		
位 置	延長	摘 要	位 置	延長	摘 要	位 置	延長	摘 要
N09+9.8	1.5		N09+9.8	3.0		N09+9.8	32.0	
合計	1.5		合計	3.0		合計	32.0	

路面排水工 計 算 書								
1号集水桝			2号集水桝			3号集水桝		
位 置	個数	摘 要	位 置	個数	摘 要	位 置	個数	摘 要
BP			BP			N07+7.7		
BP+8.0		3段目	N02+6.8					
N02+7.0			N04+1.3					
N02+15.5		3段目	N012+14.6					
N04+1.5			SP. 2+9.0	1.0				
N05+9.5		3段目	SP. 2+11.5					
N06+6.5		2段目						
N06+19.0		1段目						
N09	1.0	1段目						
N013+1.0		1段目						
合計	1.0		合計	1.0		合計	0.0	
計 算 書								
4号集水桝			5号集水桝			6号集水桝		
位 置	個数	摘 要	位 置	個数	摘 要	位 置	個数	摘 要
N012+9.1			N013+10.0			N09+9.8	1.0	
合計	0.0		合計	0.0		合計	1.0	

1号集水桝 数量計算書

1個当り



名 称	略 図 及 び 算 式	単 位	数 量
基礎碎石	土工は側溝・法面水路土工に含む RC-40 t=10cm A = 0.75*0.75 = 0.56	m2	0.56
コンクリート	18N/mm ² V = 0.65*0.65*0.05+0.45*0.45*0.05 = 0.03	m3	0.03
型枠	小型 A = 0.65*4*0.05 = 0.13	m2	0.13
下水溜桝	□450 N = = 1.00	組	1.0

石・ブロック積（張）工数量集計表

[illegible]

NO.

[illegible]

石・ブロック積（張）工数量計算書

3号ブロック積擁壁（切土・1:0.4, t=150）

NO.

測 点 名 称	区間距離	H	350+150			裏込砕石			備 考
			SL	平 均	平 積	GV	平 均	立 積	
									H=H-0.00
									H=H-0.00
									H=H-0.00
		3.0	3.23	#VALUE!		0.9	#VALUE!		H=H-0.00
SP. 2+7.3	4.6	5.0	5.39	4.31	19.8	1.5	1.20	5.5	H=H-0.00
	2.0	4.7	5.06	5.23	10.5	1.4	1.45	2.9	H=H-0.63
EC. 2		4.4	4.74	4.90		1.3	1.35		H=H-0.63
NO. 10		3.6	3.88	4.31		1.1	1.20		H=H-0.63
		3.0	3.23	3.56		0.9	1.00		
合 計	6.60				30.3			8.4	
平均 S L		30.3	/	6.60	=	4.59	m	平均 H = 4.26 m	
目地材		ヶ所数	6.60	/	10.0	-	0	=	1 ヶ所
		面積	4.59	×	0.50	×	1	=	2.3 m ²
吸出防止材			(30.3	-	0.30	×	6.60	×	
			1.0770	) /	7			=	4 枚
水抜パイプ			0.50	×	1.0770	×	4	=	2.2 m
2号基礎工		展開図より						=	6.6 m